

施設紹介

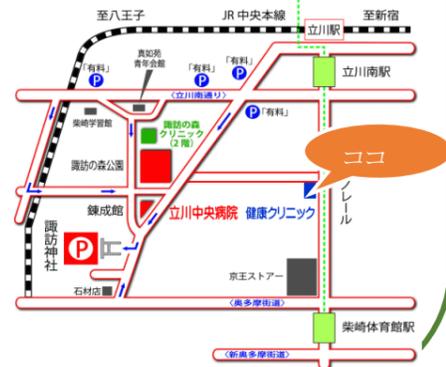


立川中央病院附属 健康クリニック

病気になる前に定期的な検査を受け、身を守る時代
高性能の機器をそろえる検査の専門機関で徹底的にチェック！



同施設では健康診断の他各種検査メニューを豊富にご用意しております。悪性腫瘍や循環器疾患といった死因上位の疾患は勿論、生活習慣病と、その先にある脳卒中のような寝たきりになる可能性のある病気、認知症など幅広く網羅してしています。64列マルチスライスCTや1.5テスラMRIといった高性能の機器で体の隅々まで徹底的にチェックします。検査健診は基本的に自費診療になるため、もう何年も受けていないという人も少なくありません。特に定年退職後に体をチェックする機会がなくなった65歳以上を対象に低価格のメニューを提供（男性3万3000円+税、女性2万7000円+税）しています。個人情報を取り扱うため、国際基準である品質保証ISO9001と情報セキュリティISO27001を取得しています。



受診・お申込み

電話 042-526-3222 月~土 8:30~16:30
URL <http://www.kenkou-clinic.jp>



Cook・たっちゅうの 第1弾

立中
いろいろ

旬彩レシピ 'そら豆の彩サラダ' 立川中央病院 栄養科

材料 (4人分)	<ドレッシング>
そら豆・・・12さや 卵・・・4コ	マヨネーズ・・・ 大きじ 2
ミディトマト・・・6個 レタス・・・1/2コ	牛乳・・・ 大きじ 2
新たまねぎ・・・1/4コ	粉チーズ・・・ 少々
	シーズンソルト

<作り方>

- ① そら豆はさやごと2分ゆでる。
そのままふたをして5分蒸らす。
ざるにとり、薄皮をむいて冷ます。
- ② 卵は、好みの固さにゆでて、殻をむき、食べやすく切る。
- ③ 新たまねぎは、薄くスライスして、レタスは食べやすい大きさにちぎり、ミディトマトは半分に切る。
- ④ ①~③を盛り付け、ドレッシングを合わせて、上にかける。



ポイント：そら豆は、新鮮なものを使い、さやから出さずにゆでると、しわにならずにきれいに仕上がります。

<編集後記>

病院広報誌「そよ風」を創刊します。
地域の皆様へ「健康」と「幸せ」をお届けするツールとして、当立川中央病院グループの活動もご紹介します。ご意見・ご希望、お待ちしております。
<広報課>



発行日/平成27年5月
発行者/立川中央病院
編集責任者/広報課 菊池 岳司



ご挨拶

常に現場に立ち、患者さんの気持ちを明日につなげていくこと

昭和21年の開業以来、祖父から父へ、父から自分へとつながるバトン。

「幸せはあなたの健康から」を基本理念に、病気の予防から先端治療までをカバーし奥行のある医療の提供を目指してきました。地域医療に懸ける3代分の思いを胸に、平成26年に医療法人財団・立川中央病院グループの理事長に就任しました。現場で患者さんの様子を生で見たり聞いたりすることで適切な診療を導き出すことができ、より良い病院づくりにつながっていくと思っています。



理事長 木村 政人

祖父も父も同様に現場で患者さんの声に耳を傾け、幾多もの施策を講じてきました。地元の皆さんの声を受け、開業に踏み切った祖父、人間ドックの前身となる施設を作り生活習慣病検診事業をいち早く始めるなど、次々に新事業を立ち上げた父。他にも介護老人保健施設「アルカディア」や特別養護老人ホーム「むさし村山苑」、在宅医療専門「諏訪の森クリニック」、健康診断や各種検診を担う「健康クリニック」と、多様な事業を展開しています。

幅広い診療科目で「ここで完結する医療」を実現する立川中央病院を中心に、グループ全体で予防医学から先端医療、介護や在宅医療まで人々の健康を包括して支援していきたいと思っています。患者さんに幸せをもたらす健康づくりの現場がここにあります。

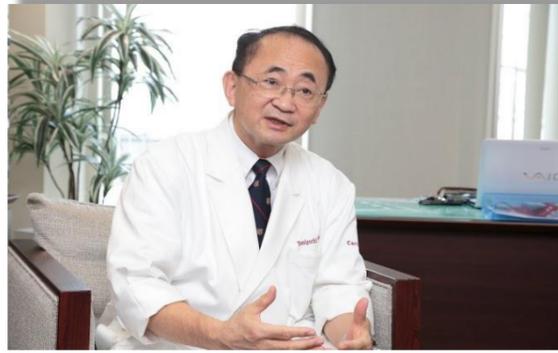
この度、病院広報誌「そよ風」を刊行することとなりました。病院グループの活動や、医療情報を地域の皆様にご提供し、その架け橋になれたらと考えています。

創刊号



医療法人財団
立川中央病院

〒190-0023
東京都立川市柴崎町
2-17-14
☎ 042-522-7171 (代)
<http://www.tactis.or.jp>



谷口 正幸 院長

内科

多様なニーズに応えるために
間口の広い病院を目指す

同院の内科には、風邪など一般内科の疾患をはじめ肺炎や気管支炎のような呼吸器疾患、喘息や花粉症などのアレルギー疾患、心臓や血管にまつわる循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病、ニコチン依存症、肝臓病、腎臓病と様々な疾患を抱えた患者さんが足を運んでいます。十人十色の患者さんに専門分野のスペシャリストスタッフが常に対応しています。多様な疾患でお困りの患者さんを受け入れられる様間口の広い病院づくりをすること、それが、地域に根付いた病院としての私たちの役目だと思っています。私の専門である循環器でいうと、着任した5年

前心臓・冠動脈CTを導入し検査体制を構築しました。高い専門性ととも、検査開始から早ければ30分程度で診断がつかます。すべての疾患において、わざわざ大学病院まで行かなくても完結できる質の高い医療を目指しています。症状があるのにどこに行けばいいかわからないとき、当院に来られるときと答えが出るとおもいます。

糖尿病治療

きめ細かなサポートに後押しされ、前向きな姿勢で治療に臨める環境

週2回、糖尿病外来を開設。専門医を中心に看護師、栄養士、理学療法士、臨床検査技師、薬剤師らがチームを組み、患者さんを「全人的」にサポートしています。例えば栄養士が患者さんの病態や生活様式に応じて献立を組み立てたり、理学療法士が無理のない運動法を考案したり、薬剤師がインスリンの自己注射や血糖値の自己測定法を指導するなど専門性の高いスタッフ陣がきめ細かくケアをしています。また、糖尿病の患者さんは壊疽（えそ）を起しやすく特に足の手入れが重要ですが、当院では専門の看護師がフットケアを行っています。一般的に「糖尿病=つらい食事制限や運動」というイメージから治療に消極的な方も多い中、教育入院も可能で、治療の意味に対して理解を深めながら前向きに治療に臨めるような体制を整えています。

検診のご案内



笑顔でお出迎えています

お問い合わせ
予約係: 042-526-1870

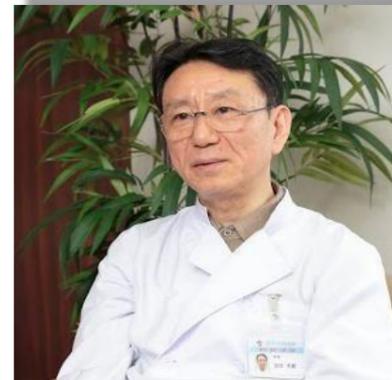
立川市特定健康診査

費用	0円（負担なし）大腸がん検査は別途300円負担あり（クーポン・免除の方は負担なし）
受診期間	平成27年5月1日～平成28年3月31日
予約	予約なし、診察時間内に「1番の初診・再診」窓口へお越しください 第二月曜日の午後、第二・第四火曜日の午後は受けられません
対象者	40歳以上で立川市役所からの受診券をお持ちの方
持ち物	①受診券 ②保険証 ③健康手帳 ④診察券（お持ちの方）
検診内容	問診・血液検査・尿検査・胸部レントゲン・眼底検査

国立市乳がん検診

費用	2000円
受診期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日（クーポンをお持ちの方は平成28年2月28日まで）
予約	完全予約制、窓口もしくは電話（042-526-1870） 受診日 毎週水曜日と土曜日 第一・三木曜日
対象者	国立市在住で40歳以上の方、昨年度国立市乳がん検診を受けてない方
持ち物	①検診受診券 ②保険証 ③健康手帳 ④診察券（お持ちの方）⑤がん検診受診通知
検診内容	問診・視診・触診・マンモグラフィ

*生理中、生理直前はさけてください。生理後7日目くらいの間での受診が理想です



江口 礼紀 副院長

外科

患者さんの身になり、負担の少ない治療
を追究しています。

まず第一に患者さんの負担を考え、できる限り低侵襲の術式で治療を行っています。それが当院外科の理念です。高齢者だから自分には外科治療は無理だと思っている方も多いのですが、しかしその方に合った術式が必ずあるはず。どんな病気の方でも何らかの手助けができるとおもっています。実際100歳を超える高齢者の胃がんや大腸がんの手術を行ってきました。同院で行われる手術の多くが腹腔鏡をはじめとする内視鏡を用いた手術です。急性虫垂炎、大腸がんなど多様な疾患の治療で活用しています。従来の術式のように腹部を大きく切開しない手術法のため、術後の回復が早く入院期間も短く済み、精神的にも肉体的にも患者さんの負担が格段に少なくなりました。また開腹手術を行う場合も、患者さんの負担を考え、できるだけ術創（切開する部分）を小さくする「小切開手術」を心掛けています。

専門性と幅広さを兼備するのが同院外科の特徴で、外傷の縫合や巻き爪、皮膚の腫瘍や粉瘤の治療といった一般外科疾患はもちろん、消化器疾患、乳腺外科、さらには救急外科まで対応しています。院内の他科、そして他の医療機関とも良好なチームワークを保ちながら、ヒューマンハンドの旗のもと患者さんの身になって常にベストを尽くすことを使命として日夜診療をしています。

外来化学療法

通院の点滴治療でがんを撃退、外来用スペースで安全かつ快適に

良性疾患はもとより、各種悪性疾患まで幅広く対応可能です。通院しながら受けられるがん化学療法の治療を提供する部門「外来化学療法」を設置し、外来患者さんに向けた抗がん剤に治療にも積極的に取り組んでいます。現在、主流とされているのが「シスプラチン」と呼ばれる抗がん剤で、胃がんや乳がんをはじめ多くの悪性腫瘍において有用性が認められています。その点滴治療を、入院患者さんだけでなく通院の患者さんも受けることが可能です。安全性や副作用への対応など、他の点滴治療とは異なる配慮が必要となり、独立した専用のスペースと専任のスタッフで治療に臨める体制を整えています。



腹腔鏡をはじめとする内視鏡の手術など、患者さんの負担を少なくする体に優しい術式で治療を行う手術室（2室完備）

「第一に患者さんの負担を考え、出来る限り低侵襲の術式で治療」の理念で、患者さんや患者さんのご家族と向き合う診察室



（4床室）



（個室）

患者さんが少しでも穏やかに、また退院に向けた療養生活が送れるように、リラックスさを追究した入院病棟

（一般病床：79床 回復療養病棟：36床）